

# 回想法センター・創り・6月号

平成28年 5月31日発行  
発行 龍ヶ崎市回想法センター  
龍ヶ崎市平台 5-9-7  
電話・FAX 0297-65-4443  
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp  
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

## 紫陽花が似合う季節が来ました

### 像の花子の思い出

1947年生まれの像の花子が亡くなりました。戦後まもなくタイからやって来た象さんです。子どもの頃、母がお兄ちゃんを白木屋?の屋上に連れて行き、象の背中に乗せたことをよく話していました。私も小学校の遠足で上野動物園に行き像と一緒に撮った集合写真があります。しかし、その時は象の名前も知らず、像がどんないきさつで日本にやってきたのかを知ったのは大きくなってからのことです。警戒心の強い花子を怒らす出来事で「殺人象」と鎖につながれるなど、人間不信に陥った花子でしたが、花子の心に寄り添う飼育員に出会い、優しく穏やかな花子に戻ったことで多くの子どもたちに愛いされ、子どもたちの笑顔に包まれた穏やかな余生を送っていることを嬉しく思っていました。花子も楽しい思い出を沢山持って旅立ったと思っています。



10月1日の都民の日には、河童のバッジを付けて上野動物園に行きました。お気に入りの花子を見てから、浅草に行き水上バスに乗り、橋げたが上がる勝どき橋を見に行った、子どもの頃が懐かしく思い出された花子のニュースでした。

### 徘徊を防ぐ鍵は住民

東海村では、2009年に村内に住む認知症の男性が家を出たまま帰らず、家族からの通報を受けた地域包括支援センターの職員や警察が村中を捜し回ったが手がかりは得られず、今も行方は分っていません。行政の力には限界を感じ地域のつながりや見守りが大事と、小学校区で自治会役員、住民が参加して「認知症徘徊模擬訓練」を実施しています。訓練は、徘徊SOSネットワーク事業の一環で、住民や企業などが参加して見守りや通報につなげることが目的です。地域の目で早期発見・保護を目指しています。ネットワーク事業に協力する金融機関や歯科医院から「預金通帳を何回も再発行する」「予約外に来院する」など、認知症が疑われる人の情報が行政に寄せられるようになるなど、村の取り組みは少しずつですが効果も出てきています。

茨城県は、全国でも徘徊の多い県でもあり、また保護しても身元が分るまでに多くの時間がかかっているのも事実です。徘徊による不明者を防ぐ鍵は住民の見守りの目ではないでしょうか。目の前にいる認知症の高齢者は、何年後かの自分の姿です。自分が徘徊しても困らない地域を今から作ってゆきましょう。

### 6月の予定

- \* **おしゃべりサロン** 2時～4時  
開催日 6月13日(月) 27日(月)  
開催場所 龍ヶ崎市役所地下食堂
- \* **認知症家族会あおぞら** 1時30分～15時  
開催日 6月1日(水) 7月6日(水)  
開催場所 龍ヶ崎市民活動センター・多目的室
- \* **笑顔屋** 6月15日 10時30分～12時  
龍ヶ崎ショッピングセンター**リブラ** 1階

問い合わせ 龍ヶ崎市回想法センター 電話 080-4209-5708